

細谷小150年のあゆみ

こまろ



下毛野朝臣古麻呂
(しもつけのあそんこまろ)
(大宝律令の選定に携わった下野市ゆかりの人物)

今号では、下野市内で唯一の小規模特認校である細谷小学校区の地域と学校にフォーカスして、コミュニティや暮らしについて調べてみました。細谷小学校区は上台・細谷・橋本地区で構成されていますが、細谷小学校在校児童49名のうち、小規模特認校制度を活用して市内全域から20名の児童が通っています（令和4年度）。

小規模特認校ってなに？

通常は教育委員会が定めた通学区域によって、通う小学校が決まりますが、地域との交流や自然とのふれあいなど地域の特性を生かした特色ある教育環境の中で学びたいと希望する児童に対し、一定の条件のもと市内全域から特別に通学を認める制度です。

以前は国分寺西小学校も小規模特認校に指定されていましたが閉校したため、現在市内の小規模特認校は細谷小学校のみです。

自然に囲まれた細谷小学校では、かんぴょう、サツマイモなど農作物の栽培や地域の人たちの協力を得てイチゴ摘み、梨狩り体験、そば打ち体験や楽器体験など、地域の特色を生かし地域とのつながりを大切にしている教育活動を行っています。

細谷小学校沿革

- 明治 6年(1873年) 橋本村・箕輪村・中大領村・細谷村・前原村・下大領村の六ヶ村連合の修習所として時習学舎を橋本に創立
- 22年(1889年) 市町村制の施行に伴い姿村が誕生
- 24年(1891年) 橋本学校と改称
- 25年(1892年) 姿尋常南校と改称し、橋本・細谷の学区となる。
- 昭和 16年(1941年) 姿村立姿南国民学校と改称
- 23年(1948年) 細谷に移転し、上台・橋本・細谷の3学区となる。
- 29年(1956年) 姿村と石橋町の合併により石橋町立細谷小学校となる。
- 平成 10年(1998年) 小規模特認校指定
- 18年(2006年) 南河内町・石橋町・国分寺町の3町合併により下野市立細谷小学校となる。



明治から令和まで続く細谷小学校は創立から150年目を迎えた学校です！中学校は石橋中学校の地区なんだよ。



つながつテルね！
条例6条

(情報提供)

第6条 議会及び市は、その保有する情報について市民との共有財産であるとの認識に立ち、積極的に、かつ、分かりやすく市民への情報提供に努めるものとする。